

京都職業能力開発短期大学校 ポリテクカレッジ京都 (その5)

新たにロボット教科を導入



「ポリテクカレッジ京都」のシリーズ5回目として、“今の状況”を中心にご紹介します。

今年の入学者数は40人

最近5年間の入学者の状況(右表)を見ると、今年4月の入学者は40人で、うち女性が5人です。この40人の入学者数は過去5年間で最多となっています。

平成27～31年度の入学者数
(単位:人) ()は女性

入学年月	合計
平成27年4月	33(5)
平成28年4月	30(1)
平成29年4月	37(4)
平成30年4月	35(1)
平成31年4月 (令和元年度)	40(5)

ポリテクカレッジ京都のお話によると、出身地別では京都府内が過半数を占め、舞鶴市からの入学者は5人とのことでした。

卒業生の5人が舞鶴で就職

一方、卒業生の状況(参考資料)については、今年3月末の卒業生は35人。このうち就職が29人で就職率は97%でした。就職者の中で、舞鶴市内を選んだのが5人となっています。そして、進学は5人でした。

この進学者の内訳は、ポリテクカレッジ京都(短期大学校)の上位学校になる「近畿職業能力開発大学校」が4人で、応用課程として更に2年間学びます。残りの1人は、ゲーム関係の専門学校へ進学しました。

ポリテクカレッジ京都のお話では、「この数字は、例年とほぼ同様の傾向ですが、就職は企業様のご理解の上で実現するものです。特に舞鶴市内では、初めて採用していただいた企業様もありました」とのことでした。

[参考資料]

○平成30年度(31年3月)卒業生の進路状況

- 1 卒業生 35人
- 2 就職と進学 就職 29人(就職率97%)、進学 5人
- 3 舞鶴市内の就職者 5人
- 4 進学先 近畿職業能力開発大学校… 4人
専門学校…………… 1人

※使用した数字はポリテクカレッジ京都からの提供です。

ポリテクカレッジでは全国初

ポリテクカレッジ京都では、社会の動きや企業のニーズ等に対応するため、様々な改革が行われています。今年度から、厚生労働省所管の短期大学校では全国初となる「ロボット教科」授業を導入されました。この教科は、生産技術科の授業の中で行われるもので、すでに学内には、部品の搬送や組み立てなどの役割を持つアーム型の産業用ロボット6台が配置(写真)されています。

「ロボット教科」授業そのものは、今年12月から1年生の教科に追加され、卒業までの間、ロボットを安全かつ正確に操作するための知識や技能を学びます。

そして、「ロボット教科」に関連する授業等も含めて2年の課程の中で、学生たちはロボットに関する国家資格(労働安全衛生法に基づく特別教育)の「産業用ロボット操作への教示等作業員」と「産業用ロボットの検査等の作業員」を取得し、就職・進学を目指すことになります。

このように、ポリテクカレッジ京都は、本市の「ものづくり産業」に欠かせない学校であるとともに、地域経済の活性化にも大きな貢献をされています。



このほど導入された産業用ロボット